

(仮称)保健事業プラン 2024 骨子(案)

1 保健事業プランとは

(1) 国の策定のフレーム

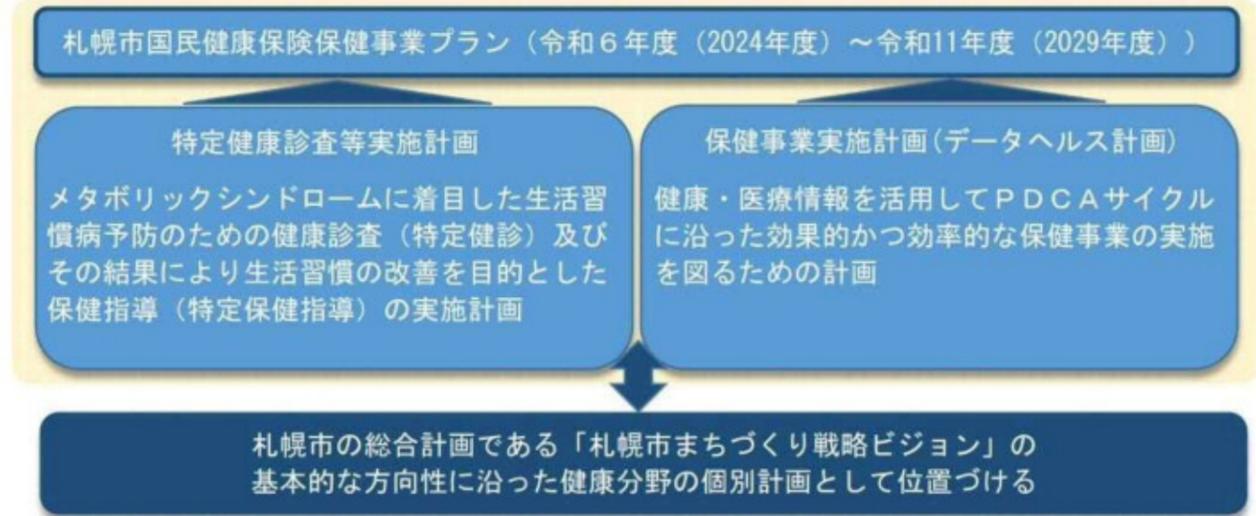
次の2つの計画を各保険者が策定することとされている。

- 特定健康診査等実施計画（高確法）・・・**健診計画**
特定健診、特定保健指導の実施計画
- 保健事業実施計画（国保法に基づく保健事業実施等に関する指針）・・・**DH計画**
レセプトや健診結果などのデータを活用した保健事業の実施計画

(2) 札幌市における計画策定の経緯



(3) 計画の位置づけ



2 保健事業プラン 2018 の振り返りと(仮称)保健事業プラン 2024 の取組の方向性

(1) 保健事業プラン 2018 の振り返り

① データ分析（計画策定段階）

- 例えば、札幌市だけのデータを分析するのではなく、全国データと比較するなどにより、特性をつかむことで、札幌市の課題を洗い出し、そこから取組内容を立案すべき。

② PDCA（計画実行段階）

- 「計画→実行→評価→改善」を機能させ、実施した事業については適時適切に評価を行い、見直すべきものは見直すべき。

③ 事業の優先度が不明確（計画策定・実行段階）

- 目標を達成するための又は目標に近づけるための取組を優先的に計画して、人的資源や予算を投下していくべき。
- そのためには、例えば国が推奨している、実施が可能であるなどの観点ではなく、優先度を判断するための軸を確立して、その軸に基づいて事業を計画化して、実行に移していくべき。

(2) 保健事業のコンセプトと取組の方向性

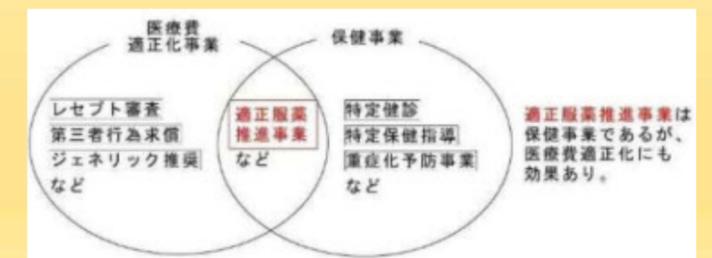
保健事業のコンセプト	札幌市国保の被保険者が、自らの健康状態を把握し、健康を維持・増進するための行動をとることができるよう取組を推進していく。 取組の推進にあたっては、医療費・健診等のデータ分析や費用等を踏まえて事業内容を決定し、これを実施の上、適切な事業評価を行って、被保険者の生活の質（QOL）の維持・向上に効果のある事業を展開していく。
取組の方向性	チェック：健診などにより、自らの健康度を確認してもらうこと フォロー：健診結果やレセプトの内容に応じた適切な支援を行うこと

《参考》

札幌市の国保は、保健事業と医療費適正化事業との関係を次のとおり整理

- ・ 医療費適正化事業：医療費の適正化に直接効果があるもの
- ・ 保健事業：被保険者の生活の質（QOL）の維持及び向上を図るもの（その結果、医療費の適正化が図られるかどうかは問わない）

(イメージ図)



3 現状と課題

全 体		生活習慣病	
○ 年齢構成について、国保加入者と市民全体とを比較すると、国保加入者は高齢層の構成比が高い。	データ(1)	○ 特定健診受診率・特定保健指導実施率は、全国、北海道、政令市平均を大きく下回っている。特に高齢層について未受診・未利用者が多い。 課題	データ(7)~(10)
○ 一人当たり医療費は、年齢層が高くなるとともに増加する傾向が見られる。	データ(2)	○ 特定健診有所見割合は、全国と比較すると、男女とも HbA1C は低く、LDLコレステロールは高いが、その他の項目に大きな差は見られない。 一部課題	データ(11)
○ 札幌市と全国の一人当たり医療費の推移を見ると、札幌市は全国を3万円程度上回ってきている。コロナの影響をほとんど受けていないR元年度（H31年3月～R2年2月診療分）にて比較すると、その差は35,275円（414,214円－378,939円）となっている。	データ(3)	○ 特定保健指導による改善率は全国とほぼ同値である。	データ(12)
○ これを医科入院・医科通院・歯科・調剤・その他別に見ると、全国と比べて医科入院が30,607円高くなっている。 課題	データ(4)	○ 一人当たり生活習慣病医療費（生活習慣病10疾患合計）を見てみると、札幌市と全国との差はほとんどない。ただし、個別の疾患では、脳梗塞など全国比で高くなっているものも見られる。 一部課題	データ(13)、(5)
○ さらに疾患別に見てみると、一部のがん（肺がん、大腸がん）、一部の生活習慣病（狭心症、脳梗塞）、関節疾患、一部の精神疾患（統合失調症、うつ病）が全国と比べ特に高くなっている（一人当たり医療費の全国との差が+1,000円以上の疾患を入院・通院別に抽出）。 課題	データ(5)	○ 生活習慣病で医療機関を受診している人の割合は札幌市（56%）と全国（57%）はほぼ同率。一方、生活習慣病で医療機関にかかっておらず、特定健診も受けていない層（健康状態不明層）は札幌市が36%（20%+16%）、全国が31%（17%+14%）で、札幌市が全国よりも5ポイント高い（よくない）。 課題	データ(14)
○ 医薬品について、重複処方や多剤処方を受けている人は、月4,000人程度で推移している（R元年度）。 課題	データ(6)	○ 生活習慣病重症化予防事業については、重症化リスクのある人に医療機関への受診を勧奨した結果、受診を開始した人の割合はおおむね20%代前半で推移。服薬治療中の人に医療機関と連携して行った保健指導は、20～40人（1～2%）程度で推移。 課題	データ(15)

4 保健事業の取組

「3 現状と課題」の議論を受けて改めて検討

チェック	健診などにより、自らの健康度を確認してもらうこと	フォロー	健診結果やレセプトの内容に応じた適切な支援を行うこと
取組の例 ：特定健診受診勧奨 （健康状態不明層に対する健診受診勧奨の重点化 など）		取組の例 ：特定保健指導利用勧奨 重症化予防事業 （医療が必要な人を確実に医療につなげる など）	

5 成果指標

成果指標の例

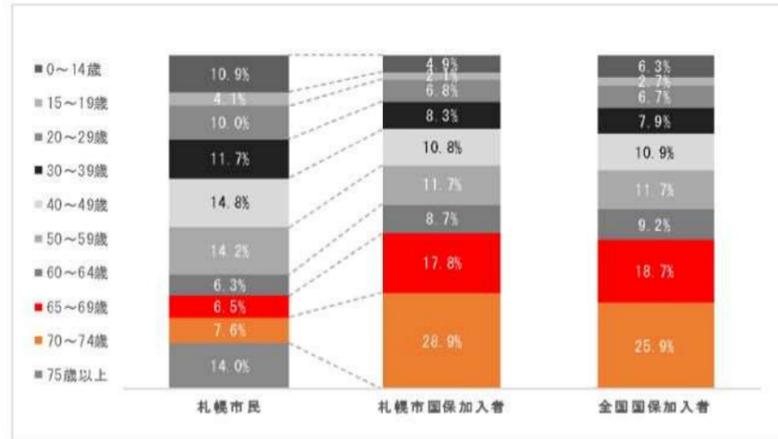
健康状態不明層の圧縮（36%→0%） など

「3 現状と課題」の議論を受けて改めて検討

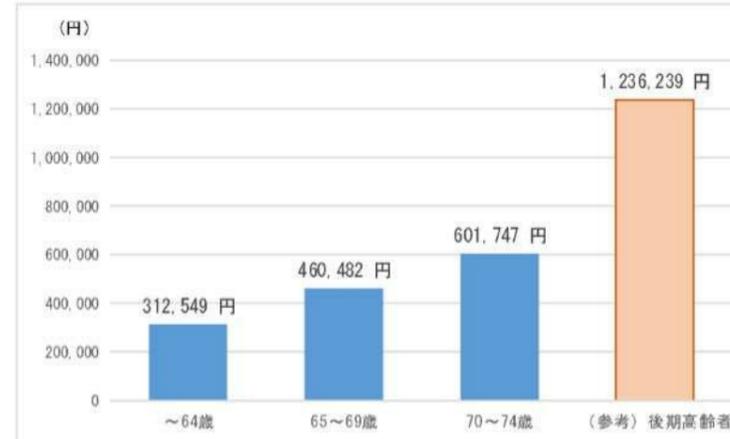
(仮称)保健事業プラン2024 骨子(案)

「3 現状と課題」に関するデータ

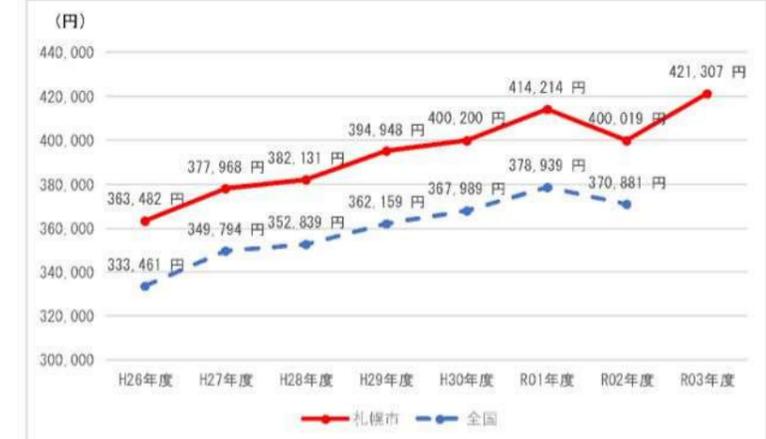
(1) 札幌市民と札幌市国保加入者の年齢構成比(R3年度)



(2) 年代別の一人当たり医療費 (R元年度(札幌市国保))



(3) 一人当たり医療費の推移 (全国比)



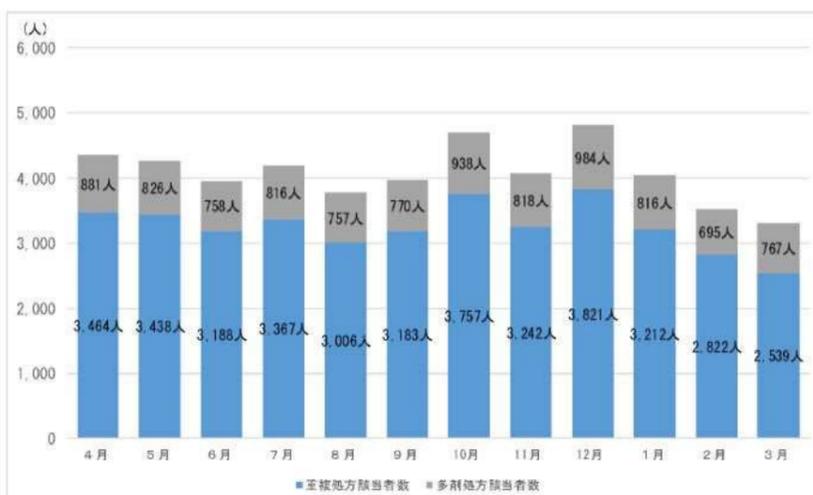
(4) 区分別の一人当たり医療費 (R元年度)

区分	札幌市 (円)	全国 (円)	札幌市-全国 (円)
医科入院	170,303	139,696	30,607
医科通院	129,124	132,776	▲ 3,652
歯科	28,995	25,896	3,099
調剤	72,171	66,671	5,500
その他	13,621	13,900	▲ 279
合計	414,214	378,939	35,275

(5) 一人当たり医療費が全国と比べて1,000円以上の差がある疾患 (R元年度)

札幌市と全国の差が大きい疾患	【医科入院】 (円)			【医科通院】 (円)			
	札幌市	全国	札幌市-全国	札幌市	全国	札幌市-全国	
肺がん	5,818	3,758	2,060	うつ病	5,223	4,112	1,111
狭心症	4,728	3,022	1,706	脂質異常症	7,075	8,581	▲ 1,506
大腸がん	4,887	3,518	1,369	高血圧	9,813	11,489	▲ 1,676
脳梗塞	5,276	4,061	1,215	糖尿病	14,118	15,868	▲ 1,750
関節疾患	5,665	4,468	1,197	慢性腎臓病(透析あり)	6,600	11,910	▲ 5,310
統合失調症	10,945	9,881	1,064				
慢性腎臓病(透析あり)	2,316	3,326	▲ 1,010				

(6) 重複・多剤投与者数 (R元年度(札幌市国保))

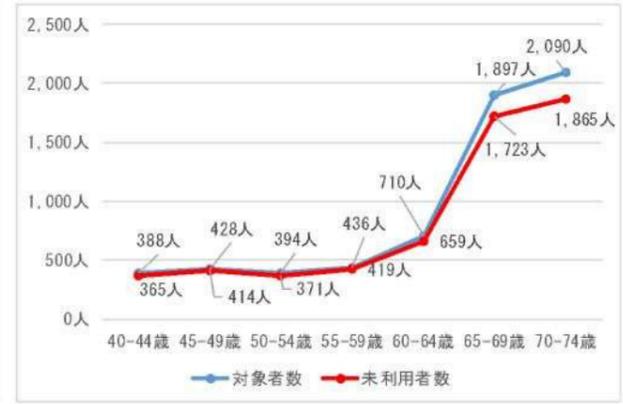
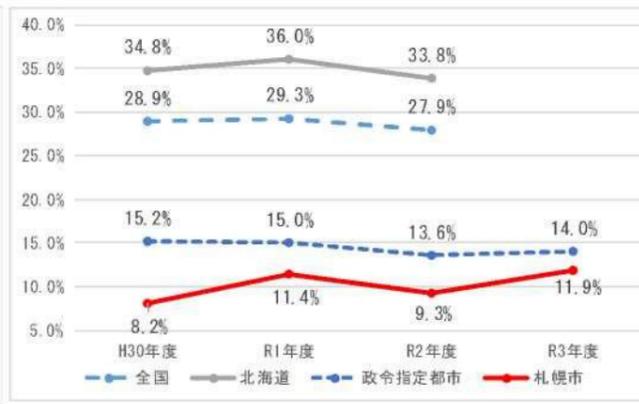
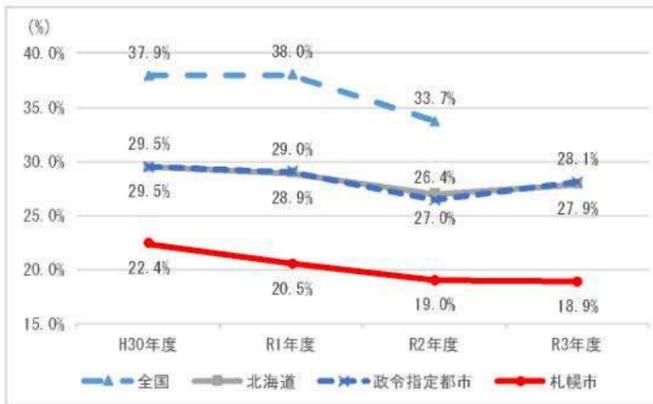


(注)

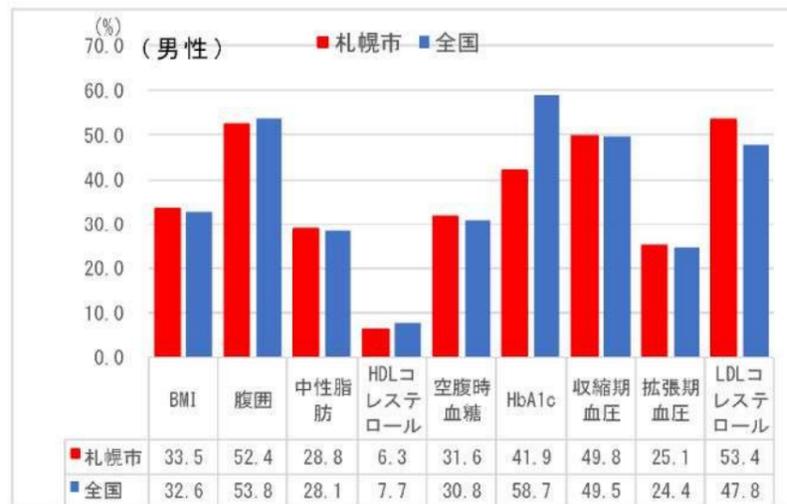
- ・(4)～(6)、(9)～(14)は、新型コロナウイルス感染症の影響をほとんど受けていないR元年度のデータを掲載している。
- ・(5)、(11)、(13)は年齢調整後のもの(年齢層などの違いを補正して全国と適正に比較できるようにしたもの)を掲載している。
- ・(5)、(13)にて算出している「一人当たり医療費」は、該当のレセプト点数の(全体に占める)割合を用いて推計したものである。ただし、一つのレセプトに二つ以上の疾患がある場合には、技術的に区分けできないため、そのレセプトの医療費すべてを「主傷病」に係るものとして扱っている。
- ・(4)～(6)、(9)～(14)は、新型コロナウイルス感染症の影響をほとんど受けていないR元年度のデータを掲載している。
- ・(13)、(14)にて抽出している生活習慣病は、全国比較できるように、国保中央会の国保データベースシステムの仕様に従い、糖尿病、高血圧症、脂質異常症、高尿酸血症、脂肪肝、動脈硬化症、脳出血、脳梗塞、狭心症、心筋梗塞の10疾患としている。一つのレセプトに二つ以上の疾患がある場合の扱いは、前述のとおりである。
- ・(6)の「重複処方該当者数」とは、同一月内に複数の医療機関から同じ薬効の薬が処方された人の数であり(詳しくは「2医療機関から2種類以上の薬剤が重複」又は「3医療機関以上から1種類以上の薬剤が重複」、「多剤処方該当者数」は、同一月内に15種類以上の薬が処方された人の数である。

「3 現状と課題」に関するデータ

(7) 特定健診受診率(全国・北海道・政令市比) (8) 特定保健指導実施率(全国、北海道、政令市比) (9) 特定健診年代別未受診者数(R元年度(札幌市国保)) (10) 特定保健指導年代別未利用者(R元年度(札幌市国保))



(11) 特定健診有所見者割合 (R元年度)



(12) 特定保健指導による改善率 (R元年度)

区分	札幌市	全国
改善率	22.2%	21.0%

(注) 特定保健指導の翌年度に受けた特定健診にて特定保健指導の対象にならなかった人の割合。

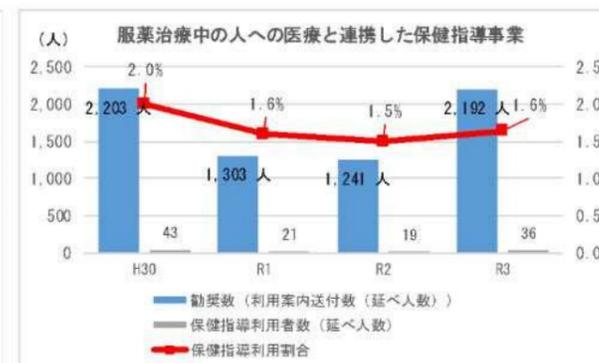
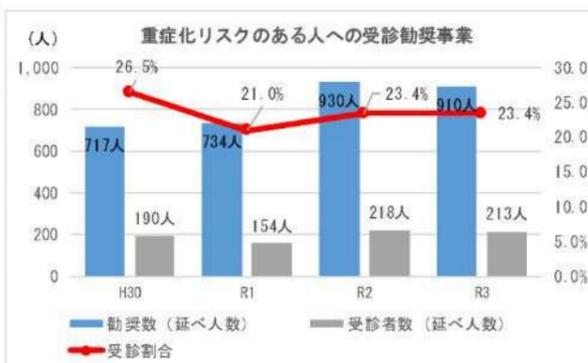
(13) 一人当たり生活習慣病医療費 (R元年度)

区分	札幌市	全国	札幌市-全国
内科入院	15,203	12,316	2,887
内科通院	35,952	40,205	▲ 4,253

(14) 特定健診受診と医療受診との関係 (R元年度)

区分	札幌市			全国		
	生活習慣病で医療受診	生活習慣病以外で医療受診	医療受診なし	生活習慣病で医療受診	生活習慣病以外で医療受診	医療受診なし
健診受診	12%	6%	2%	25%	10%	2%
健診未受診	44%	20%	16%	32%	17%	14%
合計	56%	27%	18%	57%	28%	16%

(15) 生活習慣病重症化予防事業



糖尿病の治療を中断した人への受診勧奨事業

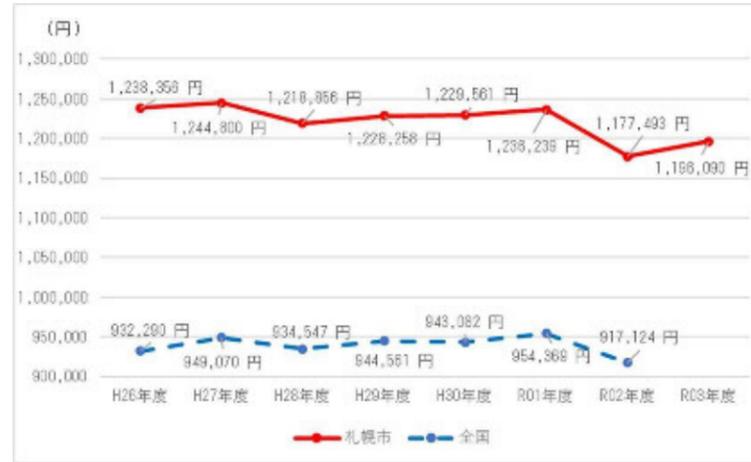
文書送付対象者	受診勧奨対象者数(実人数)	受診者
101人	96人	31人 (受診率32.3%)

(注) R3年度に試行実施したものの結果。R4年度から本格実施しているが、R4年度の結果が出るのはR5年度。

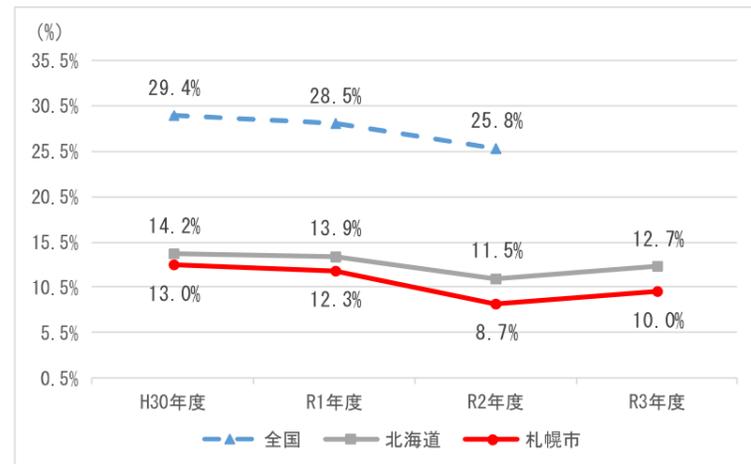
(仮称)保健事業プラン2024 骨子(案)

(参考)「『3 現状と課題』に関するデータ」に係る後期高齢者医療制度分データ(※カッコ内の数字は国保データに対応)

③ 一人当たり医療費の推移(全国比)



⑦ 健診受診率(全国・北海道比)



④ 区分別の一人当たり医療費(R元年度)

区分	札幌市	全国	札幌市-全国
医科入院	677,256	450,864	226,392
医科通院	294,923	272,452	22,471
歯科	40,008	36,166	3,842
調剤	164,144	154,028	10,116
その他	59,908	40,859	19,049
合計	1,236,239	954,369	281,870

⑧ 一人当たり生活習慣病医療費(R元年度)

区分	札幌市	全国	札幌市-全国
医科入院	80,366	48,595	31,771
医科通院	79,024	82,339	▲ 3,315

⑤ 一人当たり医療費が全国と比べて1,000円以上の差がある疾患(R元年度)

【医科入院】	札幌市	全国	札幌市-全国
脳梗塞	45,847	25,168	20,679
パーキンソン病	17,841	5,979	11,862
認知症	19,359	7,683	11,676
狭心症	15,605	8,279	7,326
慢性腎臓病(透析あり)	20,087	13,337	6,750
不整脈	19,642	13,056	6,586
心臓弁膜症	13,456	6,878	6,578
肺炎	19,065	14,735	4,330
統合失調症	11,505	7,951	3,554
関節疾患	19,488	16,010	3,478
大腸がん	9,976	6,779	3,197
肺がん	8,785	6,252	2,533
大動脈瘤	6,567	4,247	2,320
脳出血	8,301	6,184	2,117
骨粗しょう症	9,107	7,009	2,098
骨折	39,308	37,304	2,004
膵臓がん	3,323	1,970	1,353
胃がん	5,805	4,643	1,162

【医科通院】	札幌市	全国	札幌市-全国
関節疾患	22,446	19,983	2,463
狭心症	7,327	5,333	1,994
不整脈	22,705	21,045	1,660
胃潰瘍	4,728	3,320	1,408
気管支喘息	7,985	6,666	1,319
糖尿病	26,857	28,233	▲ 1,376
脂質異常症	13,336	15,007	▲ 1,671
緑内障	6,198	8,153	▲ 1,955
高血圧症	24,134	26,800	▲ 2,666